

解答

(1) ② (2) ① (3) ③ (4) ④

(1) 正解②

選択肢の和訳

- ① 町を再び君主制で統治したい。
- ② 宮殿が観光客を呼び込み、雇用を生み出すことを期待している。
- ③ 地元の家族を宮殿へ移住させる計画である。
- ④ 中世の建物は歴史家にとって危険だと考えている。

本文の対応箇所

第1段落第3文:

Some officials want to restore its most glorious rooms, arguing that the palace could attract tourists and create jobs.

解説

一部の役人は、宮殿による観光客の誘致と雇用創出を理由に、豪華な部屋の修復を望んでいます。したがって②が正解です。

(2) 正解①

選択肢の和訳

- ① 宮殿は一般の人々の生活や仕事も映し出している。
- ② 宮殿の装飾品は文書記録よりも価値がある。
- ③ 春の儀式は王族だけが行った。
- ④ 周辺の町を考慮せずに研究すべきである。

本文の対応箇所

第2段落第1～3文:

However, local historians say the building represents more than the

aristocracy that once governed the realm. A descendant of palace workers recently discovered records describing servants, cooks, and gardeners. Their daily labor supported royal life, yet it rarely appears in exhibitions.

解説

歴史家は、宮殿が貴族だけでなく、王室の暮らしを支えた使用人や料理人、庭師などの経験も表すと主張しています。したがって①が正解です。

(3) 正解③

選択肢の和訳

- ① 損傷した歴史的建造物を現代の建物に置き換えること。
- ② すべての史跡を主に観光振興のために利用すること。
- ③ さまざまな社会集団の経験を伝えること。
- ④ 宮殿のすべての品を支配者の子孫へ返すこと。

本文の対応箇所

第3段落第3文:

An international preservation convention encourages this broader approach, stating that historic places should present the experiences of many social groups, not merely those of rulers.

解説

国際的な保存協定は、支配者だけでなく多くの社会集団の経験を史跡で伝えるよう勧めています。したがって③が正解です。

(4) 正解④

選択肢の和訳

- ① 史跡でのカフェやコンサートをすべて拒否する。
- ② 不都合な証拠を取り除く場合に限り認める。
- ③ 娯楽を歴史的説明の代わりにすべきだと考える。
- ④ 歴史を隠さず修復を支える場合には認める。

本文の対応箇所

第4段落第3～4文:

They support cafés and concerts if profits fund repairs, but insist that uncomfortable evidence remain visible. By combining beauty with honest interpretation, the town may preserve both the building and a richer public memory.

解説

歴史家は商業活動そのものを否定していません。利益が修復に使われ、都合の悪い歴史も隠されないことを条件に認めているため、④が正解です。

全訳

宮殿は誰の歴史を語るべきか

ヨーロッパのある町では、時代遅れとなった宮殿が公的な議論の中心になっている。その中世の建物は有力な王朝によって増築され、後には君主制に仕えた。一部の役

人は、宮殿が観光客を呼び込み、雇用を生み出せるとして、最も壮麗な部屋を修復したいと考えている。

しかし地元の歴史家は、その建物が、かつて王国を統治した貴族階級だけを表すものではないと述べている。宮殿労働者の子孫が最近、使用人、料理人、庭師について記した記録を発見した。彼らの日々の労働は王室の生活を支えていたが、展示で取り上げられることはほとんどない。住民はまた、一般の家族が宮殿の門のそばで行っていた春の儀式も覚えている。

その場所が正式に文化遺産の指定を受けた後、計画担当者は常設展示を提案した。それは、現存する各装飾品を展示すると同時に、税金と労働がどのように宮殿を支えたかも説明するものだった。国際的な保存協定もこの幅広い取り組みを奨励し、史跡は支配者だけでなく、多くの社会集団の経験を伝えるべきだとしている。

それでも事業主たちは、複雑な物語が宮殿の魅力を損なうことを心配している。歴史家は、過度な商業主義は過去を娯楽に変え、完璧な帝国という神話を再生産しかねないと答える。利益が修復に使われるならカフェやコンサートを支持するが、不都合な証拠も見える形で残すべきだと主張する。美しさと誠実な解釈を組み合わせることで、町は建物と、より豊かな公共の記憶の両方を保存できるかもしれない。